

# ハイクリアランス仕様トラクタによる 土入れ作業

農林水産研究所

サトイモの土入れ作業において、地上高の高い**ハイクリアランス仕様**のトラクタ（または**管理機等**）を使用することで、一層の効率化・省力化が可能となります。



ハイクリアランス仕様トラクタ(イセキRTS25(ニプロロータリRM-212装着))  
※地上高が高いので、サトイモの畝をまたいでの作業が可能。

表1 ハイクリアランス仕様トラクタによる土入れ作業時間比較

試験区	作業速度 (m/sec)	旋回時間 (秒)	10a当たり作業時間 (試算値)
ハイクリアランス仕様トラクタ	0.63	67	26分13秒
歩行型管理機	0.19	85	1時間20分37秒

表2 作業機と畝高さが覆土厚に及ぼす比較

試験区	覆土厚 (cm)	
	畝高10cm	畝高20cm
ハイクリアランス仕様トラクタ	6.3	5.4
歩行型管理機	3.3	2.7

作業時間が1/3に。

歩行型管理機以上の覆土厚。

表3 土壌硬度がハイクリアランス仕様トラクタの覆土の厚さに及ぼす影響

試験区	硬度 (山中式mm)	覆土厚 (mm)	作業時間 (秒)
練り込みあり	20	21.2	51.33
通常畝	10	19.2	52.05

土が硬くても作業可能。

※練り込みありは、湛水条件で練りこんだのち乾かし土壌硬度20mm（山中式）まで固めた。  
※覆土厚は各3カ所平均。作業時間は3畝分の直進部分合計。